

事業実施主体等

事業名 : 集出荷・加工処理体制合理化推進事業
 事業実施主体 : 埼玉県農業再生協議会
 事業実施地区 : 埼玉県〇〇市町
 事業実施年度 : 平成26~27年度 (目標年度28年度)
 対象品目 : 水稻・麦
 事業費 : 〇〇百万円 (うち国費〇〇百万円)

事業概要及び効果

生産面積の減少により施設利用率の低下が見られるA及びBカントリーエレベーターにおいて、乾燥調整作業の集約化と品目の分離化を図る。
 Aカントリーエレベーターでは、水稻の高温障害やカメムシ被害により低下している品質向上、麦類では雑草種子の混入を防止するため、内部施設の高度化を図る。
 これにより、運営コストを1割削減(26年産〇〇円/h → 28年産〇〇円/h)、施設利用率の向上(平成26年産〇%→平成28年産〇%)、一等比率の向上(平成26年産〇%→平成28年産〇%)を図る。

助成金の活用状況

- ・ Aカントリーエレベーターの高度化に必要な機械・機器を導入。(機械リース: 1/2以内)
- ・ 高度化により不要になった機械・機器の廃棄(廃棄費の1/3以内)



取組前後の状況

取組前

取組後

〇〇市町〇〇地区

Aカントリーエレベーター
(水稻・麦・飼料用米)

Bカントリーエレベーター
(水稻・麦・飼料用米)



用途別集約



Aカントリーエレベーター
(水稻・麦)

Bカントリーエレベーター
(飼料用米)

用途別集約



本事業により、内部施設の高度化のための機械・機器をリース導入。
 不要機械・機器は廃棄。

・ A、Bの両施設で集出荷。・ 乾燥調整作業を実施。

- ・ Aカントリーエレベーターに水稻、麦の集出荷・乾燥調整作業を集約化。
- ・ Bカントリーエレベーターは飼料用米専用の施設として継続利用。